



～今月の表紙～ 園児とわらびりんご

先月、さつき保育園の年長さんが園庭にあるわらびりんごを収穫。今月には、りんごを使いアップルパイを作ります。



中央在住の谷澤さん親子

特集：わらび子育てL i f e

子育てするなら コンパクトシティ蕨

日本一コンパクトな市域に、利便性の高い住環境と豊かなコミュニティがぎゅっと詰まった、私たちのまち蕨。

市ではこうした特長を生かして住みやすさ日本一のまちづくりを進めています。その一つが子育て環境の充実です。

そこで2ページから5ページまでの特集では、子育て世代の皆さんから伺った「蕨の魅力」と、市の取り組みについて紹介します。

5 ・ 11平方キロメートルと日本一コンパクトな市域に、

7万5000人以上が暮らす蕨。都心へのアクセスがよく通勤・通学に便利な立地に加え、生活に必要な機能が整っています。また、かつての宿場町という側面から人と人のつながりが強く、活発なコミュニティ活動により、優れた地域力が培われてきました。市ではこうした特長を生かし、市の最上位計画「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン（※）の下、住みやすさ日本一のまちづくりを進めています。子育て環境の充実もその一つ。「子育てするなら蕨で」と思えるよう、安心して子どもを産み育てられ、健やかに育つ環境整備を進めており、直近の市民意識調査では、市政に対する満足度において子育て支援が2位となりました。

では、実際皆さんは蕨にどんな印象を抱いているのでしょうか。3、4ページでは子育て中の家族に伺った「蕨の魅力」について紹介します。

住み心地がよく、初めての
子育て楽しんでいます

Interview

尾花さん一家

塚越3丁目



▶写真左から尾花尚吾さん、
翼季ちゃん(2歳7か月)、
純子さん



児童館・公民館

市内には児童館5館と公民館7館があり、どこにでも行きやすいのが特長です。年齢別の催しが多数行われているのでご参加ください

◀おはなしワラビン(東公民館)



週

末は公園によくお出かけするんですよ」と、話す尾花さん一家。自宅から

近い市民公園は、活発で好奇心旺盛な翼季ちゃんのお気に入り、取材当日も園内を走り回り、レンズに向けて愛らしい表情を見せてくれました。

もともとご夫婦とも蔵とは縁がなく、都内から越してきて約5年。「主人の通勤に便利ですし、スーパーや公園、病院が身近にあつて生活しやすいですね」と、妻・純子さん。

そんな純子さんがよく利用しているのが児童館や公民館です。近くに知り合いも少なく出産後は家に籠もりがちでしたが、「赤ちゃん訪問」(※)の助言を機に足を運ぶように。「初めての子育てで不安もありましたが、催しのスタッフのかたに相談できたり、ママどうしの輪が広がったりと助かっています」と、につこり。秋には新しい家族が増え、もつとにぎやかになる尾花さん一家。「おねえちゃんになるの!」と、翼季ちゃんもその日を心待ちにしています。

子育て中の皆さんに聞きました! 蔵のいいところ



地域ぐるみで見守られている そんな環境が心強いです

Interview
紺野さん一家
中央7丁目



▶写真左から紺野真誠くん(6歳)、
亜紀さん、聖華ちゃん(小2)、
浩一さん、夢翔くん(小4)



町会・子ども会の活動

市内の町会や子ども会では、運動会やお祭りなどのほか、防災・防犯活動に取り組んでいます

◀多くの人が参加した中央7丁目
自治会大運動会(中央東小学校)



町の運動会で、みんな
日焼けしちゃいました」

と、白い歯を見せる紺野さん
ご夫婦。夢翔くんをはじめ、
聖華ちゃん、真誠くんも「楽し
かった」と、口をそろえます。

4年前に妻・亜紀さんの実
家がある蔵へ。現在2人の子
は母校に通っており、「同じ
道を歩むことになるのはうれ
しいですね。親の視点として
は学校まで近くて(※)安心
です」と、ほほえみます。

一方、東京出身の夫・浩一
さんが住んでみて感じたのは
古き良き日本のご近所づきあ
いが残っていること。「町会
や子ども会などの行事が活発
で、3人は納涼祭やラジオ体
操、餅つきに喜んで参加して
います」と、目を細めます。そ
こで顔見知りになった地域の
かたと日頃から挨拶を交わす
こともあり、「成長を見守られ
ている雰囲気心強いです」。
そんなご夫婦に将来の夢を
伺うと、「子どもたちもいず
れはこのまちに居を構えてほ
しいですね」と、3人を見つ
めながら教えてくれました。



※蔵には小学校が7校あり、市内のどこからでも学校まで歩いて約15分以内で到着します



資料1：認可保育園の増設

平成22年度までは公立5園のみ。待機児童対策として、23年度から民間との協働により増設を図り、ここ8年で8園開園し、現在は13園となりました。定員は600人から1,168人と約1.9倍の増となりました。



資料2：35人程度学級の実施

国や県の基準では小学1、2年生が対象となりますが、蔵独自の取り組みとして小学校全学年で実施しています。市費で教員を採用し、少人数での学習指導・生活指導を行うことで質の高い教育が確保できます。

悩みや不安があればご相談を

◇家庭児童相談室／悩みや子どもの発達などに関する相談を電話・来室でお受けします。

火～日曜日(午前9時～午後4時)
詳細＝福祉・児童センター内3階・同相談室(☎431・3449)

◇健康相談／健康や食事に関する相談を保健師等が電話でお受けします。
火・木曜日(午前9時～正午)
詳細＝保健センター(☎431・5590)



交流プラザさくら内にあるバンビー



地域子育て支援センター

利用者どうしがいっしょに遊んだり、お話しをしたりできる施設です。保育士への子育てに関する相談もできますので、お気軽にご利用ください。

◇こっこびよ＝☎443・5153(北町3-1-27) ◇プチプチ＝☎442・2903(塚越5-6-5)

◇バンビー＝☎442・3612(南町2-21-2) ※利用時間等はお知らせ版5ページに掲載

「子育てしたい」と思えるまちに

市では子育て環境の充実に向けて、さまざまな取り組みを進めています。

産前産後には講座や健診などにより継続的なケアを行っているほか、子育て施設の事業を通じて交流促進や孤立防止に向けた体制を整えています。また、保育施設の整備も重要な課題となっているため、民間との協働で認可保育園の増設(資料1)を進めるとともに、留守家庭児童指導室の受け入れ体制を強化しています。このほか、県内では先進的な取り組みとして、2人目以降

の保育料無料化(※)など、負担軽減に努めています。

教育の分野では小学校全学年での35人程度学級(資料2)をはじめ、学校土曜塾や放課後子ども教室の実施など、子どもたちが健やかに成長できる環境づくりを進めています。

次世代を担う子どもたちは社会全体の宝物です。これからも地域ぐるみで安心して子育てができる環境を整え、「蔵で子育てしたい」、「蔵に住んで良かった」と思えるまちづくりを推進していきます。



着実に前進 あつたか市政

より
たか
ひろ
お
頼高英雄市長が3期目をスタートさせてから3年が経過し、マニフェスト「あつたかプラン第3章」は着実に進められています。ここでは市長マニフェストの進捗状況を報告します。

マニフェスト実施状況(37項目)	
◎：実施済み	18項目
○：一部実施・着手	15項目
△：検討中	4項目
★：変更	0項目

達成率
89.2
%

市長タウンミーティング

平成30年度の施策 進捗について

市民の皆さんと意見交換をする頼高市長



実施済み・着手合わせて
89・2%に達成率が向上

「あつたかプラン第3章」は全37項目あります。この1年間で、全防犯灯のLED化と防犯カメラの設置など「実施済み」は5項目増の18項目、また、検討中だった協働事業提案制度の充実などを進め、「一部実施・着手」が15項目と、達成率が89・2%になりました。このように着実に推進されているマニフェスト。今後とも厳しい財政状況のなかでも、市民の皆さんと協働で、全国に誇れる日本一住みやすいまちづくりを進めていきます。

2 子どもたちの未来輝くまち蔵

(子育て支援、教育など)

3年間で4つの認可保育園の整備を行い、待機児童対策を進めるとともに、学童保育室は小学校を活用した4施設を含む、計7施設を開設しました。また、教育センターの機能の拡充を図ったほか、学校トイレを順次改修しています。

- 認可保育園の更なる増設と病児保育開設
- 全ての市立保育園で土曜日の通常保育
- 小学校を活用しての学童保育室増設
- 小・中学校トイレの改修促進
- 教育センター整備とスクールソーシャルワーカー配置
- アウトメディアの更なる推進

今後も環境の充実に期待

子どもが南小内の学童保育室に通っています。学校から出ないで施設に行けるので、保護者としては安心ですね。近年は保育園も増え、子育て環境の整備が進んでいますが、これからもお願いします。



すぎき みずき
鈴木 瑞樹さん
南町4丁目・38歳



南小学校内の学童保育室

1 安全で安心して暮らせるまち蔵

(防災、防犯、交通安全など)

公民館や市民体育館、市民会館の耐震化が完了し、災害に強いまちづくりが更に前進したほか、全防犯灯のLED化と防犯カメラの設置を進め、防犯対策を強化しました。また、ヘルメット普及など自転車の安全利用を促進しました。

- ◎ 公民館、市民体育館、市民会館の耐震化促進
- 上下水道の耐震化と長寿命化促進
- ◎ 自主防災会への支援強化(避難所運営訓練、スタンドパイプ普及など)
- ◎ 障害のある方々などへの避難行動支援計画策定
- 家具転倒防止と感震ブレーカーの普及促進
- ◎ 全ての防犯灯のLED化と防犯カメラ設置
- ◎ 自転車の安全利用促進(自転車用ヘルメット普及など)

賛成です防犯カメラ設置

小学生の子が2人います。安全な住環境の実現は住民の願いなので、犯罪抑止力を高める防犯カメラの設置はいい取り組みだと思います。個人的にも地域の皆さんと見守り活動を行っていきたいです。



たかはし のぞみ
高橋 希さん
中央3丁目・38歳



街なかに防犯カメラを140基設置

4 にぎわいあふれる元気なまち蕨

(にぎわい、文化、スポーツ)

錦町スポーツ広場の人工芝化のほか、東口コミュニティ・ショッピング道路と一体となって進めてきた末広公園の整備が完了しました。蕨駅西口再開発は事業計画の作成に関する補助や都市計画の変更手続きなどを推進していきます。

- 中心市街地活性化基本計画の着実な推進
- 蕨の玄関口にふさわしい蕨駅西口再開発の推進
- ◎ 蕨ブランドやシティプロモーションの推進
- △ 空き店舗有効活用の更なる推進
- ◎ 音楽や河鍋晩斎美術館と連携したまちづくり
- ◎ 錦町スポーツ広場の人工芝化
(グランドゴルフ、少年サッカー、フットサルなど)

人工芝化喜ぶ子どもたち

息子が入っている少年サッカーチームでコーチをしています。リニューアルした錦町スポーツ広場は、きれいでプレーもしやすく子どもたちは喜んでます。こうした環境が整うのはいいことです。



おおたけ ようすけ
大竹 洋介さん
北町4丁目・43歳



人工芝化が完了した錦町スポーツ広場

3 みんなにわたかく健康に暮らせるまち蕨

(介護、障害者福祉、健康づくり)

27年度から行った健康長寿モデル事業は医療費抑制等の効果を上げ、県から3年連続で表彰されたほか、新たに蕨市モデル事業を進めています。市内4か所目となる特別養護老人ホームの整備は2月開設に向け、引き続き支援します。

- ◎ ウォーキングや筋トレによる健康まちづくりの推進
- △ 全てのがん検診の個別検診化
- ◎ 歯科口腔の健康づくりの推進
- 市立病院の地域連携と診療充実、将来構想の策定
- だれもが安心して住み続けられる
地域包括ケアシステムの構築
- 地域密着型介護施設(ミニ特養)の整備
- △ 障害者入所施設の広域的検討とグループホーム整備

モデル事業で健康アップ

27年度から健康プロジェクトに参加し、継続中です。今では足腰の痛みがなくなり、効果を実感しているので皆さんにお勧めしています。健康づくりは重要なので地域全体で進めていきたいですね。



さくま はるみ
佐久間 はる江さん
錦町5丁目・74歳



参加者が携帯した活動量計

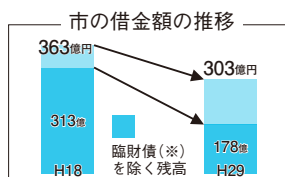
県から表彰を受けた健康づくり事業

6 みんなで創る未来に続くまち蕨

(協働、将来戦略、財政健全化)

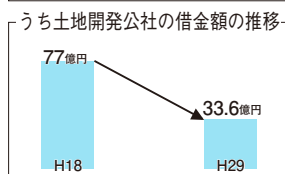
協働事業提案制度の充実に向けて取り組みを進めているほか、市の借金を3年間で約11億9,800万円削減しました。

- 協働事業提案制度の充実
- ◎ 防災や見守りなど民間団体・企業との連携・協定の促進
- ◎ 人口減少社会に対応した蕨版総合戦略の策定
- ◎ 三世代ふれあい家族住宅取得支援事業
- ふるさと納税の拡大と市税等収納率の更なる向上
- 市借金の更なる削減と土地開発公社の経営健全化



◀29年度は18年度から約60億円減となる見込みです。

※臨時債(臨時財政対策債)：国から交付される地方交付税の一部を振り替えて発行する市債。返済は後年度の地方交付税で全額補填されます。



◀市の借金の約2割を占めていた土地開発公社の借金は、計画的な買い戻しを進め、43億円以上減となる見込みです。

5 環境にやさしく暮らしやすいまち蕨

(まちづくり、環境)

わらびりんご通りをはじめとする舗装新設工事等のほか、家屋移転など錦町区画整理事業を着実に推進しています。住民票等のコンビニでの発行は昨年6月から行っています。

- △ ぶらっとわらびのルート拡充(4台運行、逆回りなど)
- ◎ 住民票等のコンビニでの発行
- 錦町区画整理事業の促進
- 中央第一地区まちづくりの推進
- 花いっぱい運動の更なる推進



整備が行われたわらびりんご通り

市PR大使に就任

宝塚歌劇団 雪組トップ娘役として活躍している真彩希帆さんが、この度蕨市PR大使に就任されました。ここでは、大使になられた真彩さんの抱負や委嘱式の様子を紹介します。

▶ 真彩希帆さんインタビュー

Q PR大使になられた感想について

A 子どもの頃から育ってきた大好きな蕨のPR大使に就任することになり、とてもうれしいです。「機まつり」は毎年欠かさず家族や友人と参加していましたし、宝塚歌劇団に入るきっかけとなった子どもミュージカルラビコ(※)に出会えたのも蕨ですので、いろいろな思い出が詰まっています。

Q 蕨の印象について

A いちばん小さな市ですが、まちの皆さんは元気に笑顔で挨拶されるなど人と人のつながりが温かいですね。それは今の私の原点になっています。

Q 今後の抱負について

A 蕨は成人式発祥の地ですし、他にもたくさんの魅力があるので、少しでも多くのかたに知っていただけるよう、お力になりたいです。そして、私自身も蕨出身として恥ずかしくないように、これからも日々努力してがんばっていきます。

※東公民館で活動する小・中学生が中心の市民ミュージカル。
指導者は元宝塚歌劇団の鈴木由美子さん



©宝塚歌劇団

ま あ や き ほ 真彩希帆さん Profile

埼玉県蕨市出身。関東国際高校出身。2012年4月『華やかなりし日々』で初舞台。翌年2月、花組に配属。2014年11月、星組へ組替え。2016年宝塚バウホール公演『鈴蘭』で初ヒロインを務める。2017年1月、雪組へ組替え。同年7月、望海風斗の相手役として雪組トップ娘役に就任。同年11～12月『ひかりふる路』ではマリー＝アンヌ役を好演。2018年6～7月『凱旋門』、『Gato Bonito!!』に出演中

● 仲間になりませんか

▼オカリナわらび(オカリナの演奏) 月4回火曜日 午前9時 くるる 月1000円 青儀・080・5404・5212

▼蕨塚越サッカースポーツ少年団 土・日曜日・祝日 東小学校か塚越小学校 月2500円 年中・小学生 武藤・080・5063・6222

▼蕨北町サッカー 土・日曜日・祝日 北小学校 月1500円 2000円(未就学児は年間1000円) 年中・小学生 活動時間要確認 小泉・090・4948・5936

▼和楽備絵手紙クラブ 第2・4月曜日 午前10時 くるる・旭町公民館 月1500円(別途入会金1000円) 八太田・090・2621・0949

▼南団碁クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料 八山本・0432・4543

▼ねこのみみ(市民交流・談話) 月1回 正午 市内 500円 八北田・0432・8501

情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課(☎433・7703)へ





耐震補強工事などに伴い、9月1日から12月10日まで、施設の通常利用ができなくなります。ご不便をおかけしますがよろしくお願いします。

工事期間＝9月1日～11月30日
※児童書エリアのみ9月7日から11月30日まで利用できます
通常開館＝12月11日から

－ 工事期間中のお知らせ －

●利用できないサービス

児童書・紙芝居・児童向けDVD等を除く書籍等の閲覧・貸し出し(工事前に予約済みの物を除く)や相互貸借、予約、レファレンス、複写等

●雑誌・新聞の閲覧について

9月7日から11月30日まで最新号の雑誌は北町分館、朝日・読売・毎日・産経・日経新聞は塚越分館で閲覧できます(本館休館日の新聞は翌日設置)。

●臨時の入口について

建物北側の返却ポストを設置している扉が臨時入口となります。

※正面入口は利用できません

●駐輪場・駐車場について

建物北側の駐輪場をご利用ください。駐車場は工事関係車両が駐車するためスペースに限りがあります。

※近隣店舗の駐車場の利用はご遠慮ください

●近隣の図書館の利用について

市内分館のほか、川口市・さいたま市・草加市の図書館を利用できます。

※戸田市立図書館本館は工事に伴い休館中

問い合わせ＝図書館 (☎444・4110)

宝塚歌劇団 雪組トップ娘役 真彩希帆さんが蕨

5月19日 P R大使委嘱式



蕨市長からP R大使の名刺を受け取る真彩さん



5月19日、宝塚市の宝塚歌劇団で真彩希帆さんのP R大使委嘱式が行われました。委嘱状や名刺を受け取った真彩さんは、「大好きな蕨のためにしっかりP Rしていきます」と笑顔で抱負を語るなど、会場は終始和やかな雰囲気に包まれていました。

蕨市P R大使とは

蕨市出身か蕨市にゆかりのある文化、スポーツ、芸術などで活躍しているかたに大使として、ご自身が出演されるテレビやラジオ、ブログなどを通じ、蕨市の魅力を広く発信していただくものです。25年度に制度を創設し、これまでに次の4人が就任しています。



左からフリーアナウンサーの町亞聖さん、左手のピアニストの智内威雄さん、タレントの松井咲子さん、将棋女流棋士の中井広恵さん

●参加しませんか

- ▼蕨少年少女合唱団創立60周年演奏会 9月2日 午後2時 市民会館 600円△高野・☎090・9838・8880
- ▼カンダンスパーティー 10日 午後1時 600円 くるる△坂内・☎443・8968
- ▼日帰り旅倶楽部参加者説明会 日時等は電話確認△日帰り旅倶楽部・岩本・☎090・3431・4295
- ▼アート結び市 21日 午前10時 市民体育館前 市内の作家の作品展示・販売△床井・☎090・8452・7163
- ▼戸田中央リハクリニック地域公開講座 28日 午後3時 同クリニック(戸田市本町1-24-7) 立つ・座る動作のしくみ 9日から申し込み開始△戸田中央リハビリテーション病院総務課・☎442・1116
- ▼江戸あるき「石神井公園三宝寺池とその周辺の史跡めぐり」 7日・12日 午前9時 蕨駅改札前 700円 ※8月は休み△富山・☎090・2764・1342
- ▼楊名時(太極拳) 土曜日 午後2時半 蕨駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4500円△浦島・☎224・5915
- ▼和楽備ストレッチ・脳トレ&ラジオ体操の会 あなたの地区でも市民のためにラジオ体操を立ち上げてみませんか△平田・☎080・4179・6907

新庁舎建設に係る審議会

新庁舎建設の基本理念や規模、機能等をまとめる「**蕨市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会**」。5月28日、市役所で^{よりたかひでお}頼高英雄市長が^{さいとうまさひと}齊藤正人会長に諮問後、第1回の審議が行われました。市は来年1月をめどに答申を受けた後、構想・計画案を策定し、パブリック・コメントを経て決定する予定です。



まちの話題

ここでは5月下旬から6月中旬までの話題を紹介します
ビデオマークがついている話題はCATVで放映します



力合わせまちをきれいに

6月3日、「さわやか環境の日・クリーンわらび市民運動」が市内全町会で一斉に実施されました。朝早くから参加した4,209人の市民の皆さんは、手分けして公園や道路など地域のさまざまな場所で清掃活動を行い、集められたごみは合計6,520個となりました。ご協力ありがとうございました。

地域デビューの第一歩に

シニア世代が地域で活躍するきっかけづくりにと、6月16日、市民会館で「ボランティア・市民活動見本市」が開かれました。51団体の活動紹介のほか、落語家で埼玉県地域デビュー楽しみ隊長の^{へい}林家たい平さんによる講演も行われ、参加した500人にとって地域活動を考える1日となりました。



「ハローわらび」7月の番組表

市からのお知らせ・地域の話題などをお送りします

放送時間は、毎日午前9時・正午・午後3時・6時・9時からそれぞれ45分間です。

	29(金)～7/5(木)	6(金)～12(木)	13(金)～19(木)	20(金)～26(木)	27(金)～8/2(木)
00	タウンタウン くるみ保育園の食育講座 一中の非行防止教室	タウンタウン 第5回蕨市 小学生将棋大会 わらびりんごの収穫	タウンタウンワイド ママ北会の じゃがいも掘り あさがお&ほおずき市 社会福祉センターまつり 南町児童館の七夕会	タウンタウン さつき保育園の アップルパイ作り 古代からのメッセージ	タウンタウン 社会を明るくする運動 蕨市推進大会 ボールを使って楽しく体操
10	市政なう 進む安全安心な まちづくり 消防救急体制の充実	特集・ウィークリープラス 熱中症にご注意ください	特集・ウィークリープラス ボランティア・ 市民活動見本市	音楽が響き渡るまち チェンバーオーケストラ蕨 第2回定期演奏会	市政なう 日本一のコンパクトシティ蕨へ 着実に前進 市長マニフェスト
20	採れたてスポット 地域の話題が盛りだくさん 蕨市PR大使に 真彩希帆さん就任	美術探訪 河鍋曉斎記念美術館 「曉斎一門が描く イキイキ生き物たち」展	特集・ウィークリープラス ボランティア・ 市民活動見本市	市政ガイド 蕨市協働推進月間	採れたてスポット 地域の話題が 盛りだくさん
30	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報

「ハローわらび」DVD／放送終了後から貸し出します 無料 詳細・貸し出し場所＝秘書広報課（☎433・7703）



広報蕨のカラー化で より市政を身近に

市長 頼高 英雄

今年も、蕨で生まれ日本一早く実が成るわらびりんごがたくさん収穫できました。広報蕨の表紙には、子ども達の笑顔とともに赤く色づいたわらびりんごが大きく紹介されています。宝塚の真彩希帆さんの蕨市PR大使への就任についても特集が組まれています。写真からは、宝塚のトップスターとして活躍している真彩さんのキラキラとした

表情が伝わってきます。このように、今月から、広報蕨がカラー化され、蕨の魅力をより鮮明に、分かりやすく、お伝えできるようになりました。

私は、市民の皆さんとの直接の対話触れ合いを市政運営の原点と考えていますが、広報蕨には、市政の情報をお伝えするとともに、さまざまな分野で活躍している市民の皆さんの活躍する姿や声を紹介するなど、協働のまちづくりを進める上で重要な役割があると考えています。

今回のカラー化を機に、市民の皆さんと市政を結ぶパイプ役として、更に親しまれ、まちへの愛着を育む広報蕨になることを期待しています。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。今月は5日です。8月は2日です。時間は午後1時～5時を予定しています。
ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へご連絡を。



王手！小学生たちが熱戦

アウトメディア推進事業の一環として、6月17日、市民体育館で「小学生将棋大会」が開催されました。会場では、個人と団体の熱戦が繰り広げられたほか、プロ棋士の植山悦行七段や中井広恵女流六段による指導対局も行われ、児童119人は懸命に知恵を絞りながら将棋を楽しんでいました。

脳を鍛え楽しく 触れ合い



年間を通じて学び合う西公民館の高齢者学級「ことぶき大学」で、6月12日、「脳トレで頭と体を動かそう」が開かれました。明るい笑い声が聞こえてくる雰囲気の中、参加者61人はゲームや体操で脳をフル回転させながら、交流を楽しんでいました。

あん
杏ちゃん（5歳7か月）

やまだ くにひこ
山田 国彦さん
れいこ
麗子さんの 長女
塚越5丁目



わが家のアイドル

-555-

「かけっこや水泳が得意で、兄の蓮と走り回って遊んでいる杏。パパのことも大好きで、休日はずっといっしょにいます。そんな杏は、いつもかわいい絵や、『大好き』などのメッセージを書いた手紙をみんなに渡すんですよ。そのかわいらしい姿に家中が幸せな気持ちに包まれます。これからは相手のことを思いやれる優しい子でいてほしいですね」と、母親の麗子さん。



6月16日の2公演を終えて、城さん

輝いています

伴奏ピアニスト・コレペティートル

ひと

城 奈央子 さん

子どもたちに上質なクラシックを

6月16日に文化ホールくるるで行われた「こどもに聴かせたいクラシックコンサートVol.3」。会場には多くの乳幼児親子が訪れ、マットの上などで思い思いにくつろぎながら、打楽器とピアノのデュオによる本格的なクラシック演奏に耳を傾けていました。このコンサートを主催し、美しいピアノの音色で会場を包み込んでいたのは、伴奏ピアニスト・コレペティートルの城奈央子さん（36歳・中央1丁目）です。

三重県出身の城さんは、クラシック好きな母親の下で4歳からピアノを始め、14歳の頃に訪れた本島阿佐子（歌）・山田佐和子（ピアノ）各氏によるデュオリサイタルにて、シューマンの曲の演奏に衝撃を受け、伴奏に興味を持つように。大阪教育大学大学院の音楽表現コースを修了後、「伴奏を究めたい」と不転の決意。生活の拠点を欧州へ移し、仏リヨン国立高等音楽院と独ミュンヘン国立音楽・演劇大学で伴奏やコレペティートル（歌などの個人練習で伴奏や助言を行う指導者）の世界水準の技能や知識を学びました。言語の壁にぶつかり苦戦するも、猛勉強の末「ドイツ人よりも美しくドイツ語を発音する」と評されるまでに。国際コンクールではファイナリストまで上り詰め、リヨン国立歌劇場の公式伴奏者を務めるなど、輝かしい実績を残しました。

約6年ぶりに帰国してからは、国内で精力的に活動する城さん。結婚して娘が生まれたことで「0歳から芸術に触れさせたい」という思いが芽生え、昨年5月に「こどもに聴かせたいクラシックコンサート」を初開催しました。「子どもだけでなく大人も楽しめるプログラムを心がけています」と語る城さん。次回は、11月10日（土）に市民会館コンクレホールで開催予定です。

今月の河鍋晩斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

— No.26 —



晩斎筆「風流蛙大合戦之図」(六ツ葵紋無し)大判錦絵三枚続 元治元年(1864)

河鍋晩斎記念美術館 7月1日(日)~8月25日(土)

「晩斎一門が描く イキイキ生き物たち」展
同時開催「第32回かえる」展

開館 = 午前10時~午後4時

休館 = 木曜日・毎月26日~末日

ところ = 南町4-36-4

入館料 = 一般600円 中学生~大学生500円

小学生以下300円 (20人以上の団体は要予約)

詳細 = 同館 ☎441-9780



展示会の詳しい
内容は美術館の
ホームページを
ご参照ください



3歳で初めて蛙を写生し、墓石も蝦蟇形の石を遺すほど蛙好きだった晩斎は、幕末の混乱から明治文明開化まで、数多くの世相を蛙に託して描きました。本図は、元治元年（1864年）の長州征伐を蛙合戦に託し

た錦絵です。初版では、右陣営の大砲や帳幕に幕府方・紀州徳川家の六ツ葵紋を、左陣営の帳幕に毛利家の沢瀉紋を描きましたが、この後版に六ツ葵紋は見られませんが、長州征伐を描いたことが分かってとがめられたからでしょう。蛙たちの擬人化がおもしろい上に、錦絵の報道画の面も伝える貴重な作品です。



現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勸業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の晩翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 晩斎

天保2年(1831)
~明治22年(1889)